

拠出金名：国際農業開発基金拠出金

国際機関等名	国際農業開発基金 (英文名称・略称) International Fund for Agricultural Development (IFAD)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名	外務省国際協力局多国間協力課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レートの (注1)		
平成18年度	1,817,859	16,500		1\$ =110.1733円	(2006年) 5.6	100.0
平成17年度	1,828,005	15,000		1\$ =121.867円	(2005年) 6.2	100.0
平成16年度	1,828,005	15,000		1\$ =121.867円	(2004年) 6.2	100.0
拠出上位5ヶ国(注2)						
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政 (2006年度決算)		
1位	米国	647,215	15.6	当該年度の収入 130,361千ドル		
2位	サウジアラビア	379,778	9.2	当該年度の支出 216,310千ドル		
3位	ドイツ	282,463	6.8	次年度への繰越 ▲85,949千ドル		
4位	日本	279,747	6.8	会計検査機関名		
5位	フランス	195,825	4.7	Pricewaterhouse Coopers		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
IFADは、開発途上にある加盟国の農業開発のために、緩和された条件で資金の融資を行う国際金融機関である。他の開発援助機関と異なり、開発途上国の地方部において、コミュニティベースのプロジェクトやマイクロ・クレジットの供与等草の根レベルの貧困削減のための活動を行っている点に独自性と比較優位がある。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
開発効果向上のための行動計画を策定し、IFADの役割と焦点の明確化、比較優位に基づいた開発効果の向上に努めている。						
邦人職員数 うち幹部以上	4人 うち 1人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		436人 0.9%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
財務官		城谷 宗彦				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注1) IFADは各次増資協議の際、その増資機関のレートを決めている。平成15～17年度は1\$=121.867円(02年4月～02年9月のIMF月末平均レートの平均)。平成18～20年度は1\$=110.1733円(05年4月～05年9月のIMF月末平均レートの平均)。

(注2) 当初拠出から第6次増資に係わる拠出までの累計額によるもの。